

ごあいさつ

北海道の建設行政は、住宅・社会資本整備を通じて「豊かで安心して暮らせる活力ある地域社会の実現」を図ることを目標に、地域の視点、住民の視点に立った事業や施策の推進に努めてきております。

公共建築物の整備においては、求められる機能や性能を満足させるだけでなく、地域固有の気候や風土、環境に調和し、魅力ある景観づくりに寄与し、道民のコミュニケーションの場として親しまれる建物づくりに取り組んでまいりました。

この年報は、最近5年間に完成した主要な道の公共建築物についてご紹介するとともに、建築整備室における公共建築物整備の取り組みについてとりまとめたものです。

近年、コスト縮減や建設副産物リサイクル、多様な入札方式の推進、シックハウス対策の強化など、公共建築物をとりまく社会環境も年々変化し、さまざまな課題が現れております。

厳しい財政状況のもと、これらの課題に的確に対応しながら、今後とも、道民のみなさまにすえながく親しまれる公共建築物づくりを進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

平成18年3月

北海道建設部長 野村昌信